

## 屋外用カメラハウジング CH-1740

### 取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。  
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよく  
お読みください。  
お読みになったあと、大切に保存してください。

#### はじめに 安全上のご注意

##### 仕様

- ・ 概要
- ・ 構成
- ・ 性能
- ・ 構造
- ・ 付属品
- ・ 型名について
- ・ 回路図
- ・ 外観図

##### 設置方法

- ・ リヤパネルの開け方
- ・ ケーブルの取り付け方
- ・ カメラ・レンズの取り付け方
- ・ リヤパネルの閉め方
- ・ フロントパネルの開け方
- ・ フロントパネルの閉め方

# 安全上のご注意

## 安全にお使いいただくために必ずお読みください

ご使用前にこの「安全上のご注意」および「取扱説明書」をよくお読みください。  
この内容は、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本機を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

### 図記号について

その表示と図記号は、次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



### 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

### 図記号の意味



△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を示しています。  
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は、禁止行為であることを示しています。  
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、必ず守ってほしい行為を示します。  
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

## 警告

- 製品の設置は、十分に強度のある場所に取り付け、指定方法以外の取り付けはしないでください。  
落下などの原因となります。



- 製品の上に乗ったり、足場などにしないでください。  
転落の原因となります。



- 製品の内部を分解したり、改造や追加加工をしないでください。  
機器の破損や落下、浸水、火災、感電などの原因となります。



- 電源回路には、ブレーカーやヒューズ、接地などの保護対策をしてください。保護対策をしないと火災、感電の原因となります。



- 表示された電源以外は、使用しないでください。  
火災、感電の原因となります。



# ⚠ 注意

- 屋外用製品は、機器やケーブルなどが全て接続完了までは防水構造になりません。  
ぬらさないようご注意ください。  
浸水、腐食、漏電、火災の原因となります。



- 防水構造の機能を満たすため、防水コネクタやブッシングにケーブルを組み付ける時は、ケーブル径と防水パッキンの適合性を確認してから確実にナットを締め付けてください。  
浸水、腐食、漏電、火災の原因となります。



- コネクタやプラグを抜く時は、ケーブルをつかんで抜かないでください。  
必ずコネクタやプラグを持って抜いてください。  
接触不良により火災、感電の原因となります。



- 製品は、指定された方向以外に取り付けしないでください。  
屋外用製品であっても、指定以外の方向に取り付けますと内部に浸水したり、火災、感電、落下の原因となります。



- 製品を振動の多い場所に取り付けしないでください。  
ネジがゆるみ、破損や落下の原因となります。



- 安全に使用するために機器類は、定期的に点検を行ってください。  
ケーブルの劣化、腐食による、浸水などにより漏電、火災の原因となります。



- 設置工事は専門知識のある工事関係者又は、所定のサービスマン以外の方は、作業をしないでください。  
火災、感電の原因となります。



- 梱包材は、安全な方法で処分してください。  
不用意に燃やしたりしますと、黒煙が出て環境を害したり、ケガや窒息する危険があります。



- 高所での作業は、安全防具（安全帯など）の着用と工具類の落下防止対策を必ず行ってください。  
転落、ケガ、工具落下による事故の危険があります。



- 接続ケーブルは、足が引っ掛からない処置をしてください。  
つまずいてケガをしたり、火災、感電の原因となります。



- 使用しなくなった機器類は、電源を切って速やかに撤去してください。  
設置したまま放置しておきますと腐食して落下、漏電、火災などの危険があります。



# 仕様

## ■概要

本カメラハウジングは、小型テレビカメラ及びレンズ等を収納し、屋外での直射日光や風雨から機器を保護するために用いる小型カメラハウジングです。また、別構成部品（オプション）の、ワイパー・ヒーター・デフロストガラス・ファン等を装備することにより、あらゆる気象条件に対応できるように設計されています。（オプション単体での販売はしていません。）

## ■構成

一式の構成は、下記によります。

1) 本体	1 台
2) カメラ取付板（本体に組込済み）	1 個
3) 付属品	1 式
4) 取扱説明書	1 冊

## ■性能

1) 使用条件：屋外一般

2) 使用温度：-5℃～+45℃

但し、使用カメラの使用周囲温度により増減します。また、オプション部品、ヒーターキットを装備することにより、低温域を、内部空気攪拌用ファンキットを装備することにより、高温域を改善することができます。

（ワイパーは、-5℃～+40度の範囲とし凍結しない場合）

■ヒーター装備 -10℃ ヒーター17W×1枚  
(-20℃ ヒーター17W×2枚は特別仕様です。)

■ファン装備 カメラの使用温度にご注意ください。

3) 使用湿度：35%～98%RH（結露ないこと）

4) 電源：AC100V±10% 50/60Hz 単相

5) 使用電力：デフロストガラス 5W±30%  
ファン 4.5VA±20%（50Hz時）  
ヒーター 17W±20%  
ワイパー 11VA±20%（50Hz時）

6) 動作温度

及び制御：デフロストガラス ガラス温度約35℃以下ON約50℃以上OFF  
（サーモスイッチによる）

ファン 約30℃以上ON（サーモスイッチによる）

ヒーター 約7℃以下ON（サーモスイッチによる）

ワイパー 遠隔制御によるAC100VのON-OFFによるもの  
として、ワイパー1往復時間は約2秒として間欠定格  
（10分）とします。

7) 防水性：IP66規格に準じます。

8) 本体質量：4.5kg±10%（フルキット時、6.3kg±10%）

9) 保存温度：-30℃～+60℃

10) 電氣的耐力：イ) 絶縁抵抗

DC500Vメガーにて、5MΩ以上（但し、常温・常湿時）

ロ) 耐電圧

AC1000V 50/60Hzを1分間印加して異常ないものと  
します。（但し、常温・常湿時）（ACラインとFG端子間とします。）

## ■構造

- 1) 外観：外観図参照
- 2) 内部容量：幅×高さ×長さ（約）110×85×325
- 3) 主要外装材：
  - 本体 アルミ押し材（A6063）
  - 前枠・後蓋部 アルミダイキャスト（ADC12）
  - サンシェイド 耐食アルミ板（A5052P）
  - その他 ステンレス鋼、及び硝子
- 4) 仕上げ：
  - 本体 塗装
  - 前枠部 黒色 半ツヤ塗装
  - その他の部分 マンセル5Y8/1 近似色レザー tone 仕上げ塗装
- 5) 防錆：
  - 外部に露出しているねじ・ボルト類はステンレス鋼製とし表面処理強化を施すものとします。
  - 塗装は、エポキシ系下塗り、ポリウレタン系上塗り仕上げ。
- 6) 外線接続：
  - ケーブル貫通ブッシングを通し、内部のターミナルに接続する。
  - ブッシング ケーブル適合径
    - 電源・制御線用  $\phi 10 \sim \phi 14$
    - 映像用  $\phi 5 \sim \phi 10$  (3C-2V/5C-2V)
  - 内部端子台（M3 ねじ止め端子）12P 1個
  - アースネジ（M4 ネジをターミナル金具に装備）
- 7) 回路図及び回路部品：回路図・回路部品表によります。

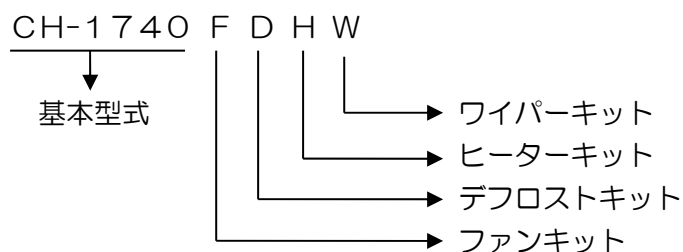
## ■付属品

一式の付属品の種類及び個数は下記によります。

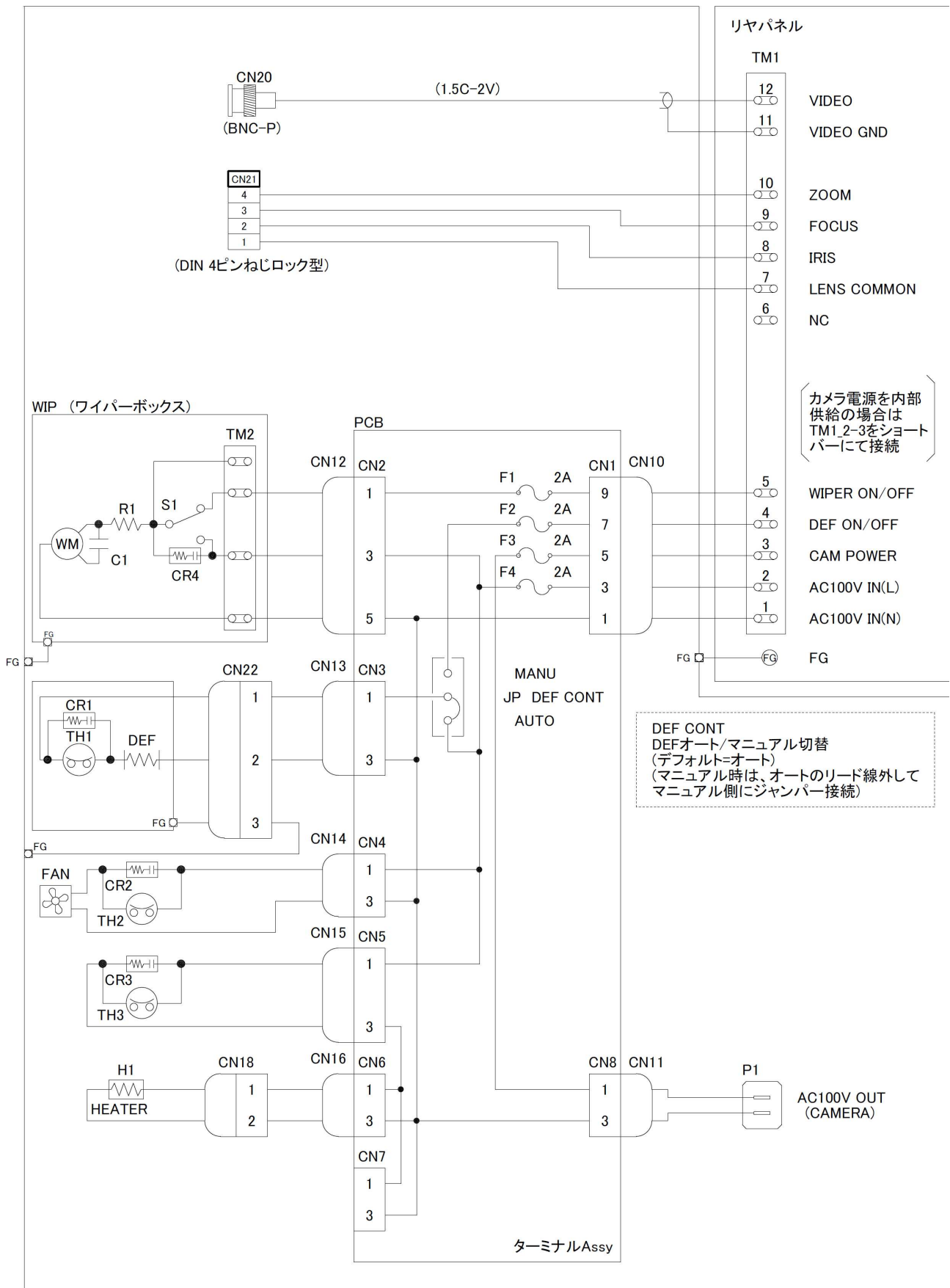
- 本体固定用取付ボルト類（SUS） 4組
  - M6×12 六角ボルト
  - $\phi 6$  バネ座金
  - $\phi 6$  平座金
- カメラ取付ボルト類（SUS） 2組
  - W1/4 ×12 六角ボルト
  - $\phi 6$  バネ座金
  - $\phi 6$  平座金
  - 絶縁ワッシャー（POM）
- 圧着端子 20個（予備分含む）  
FN1.25-MS3（日本圧着端子製造製）

## ■型名について

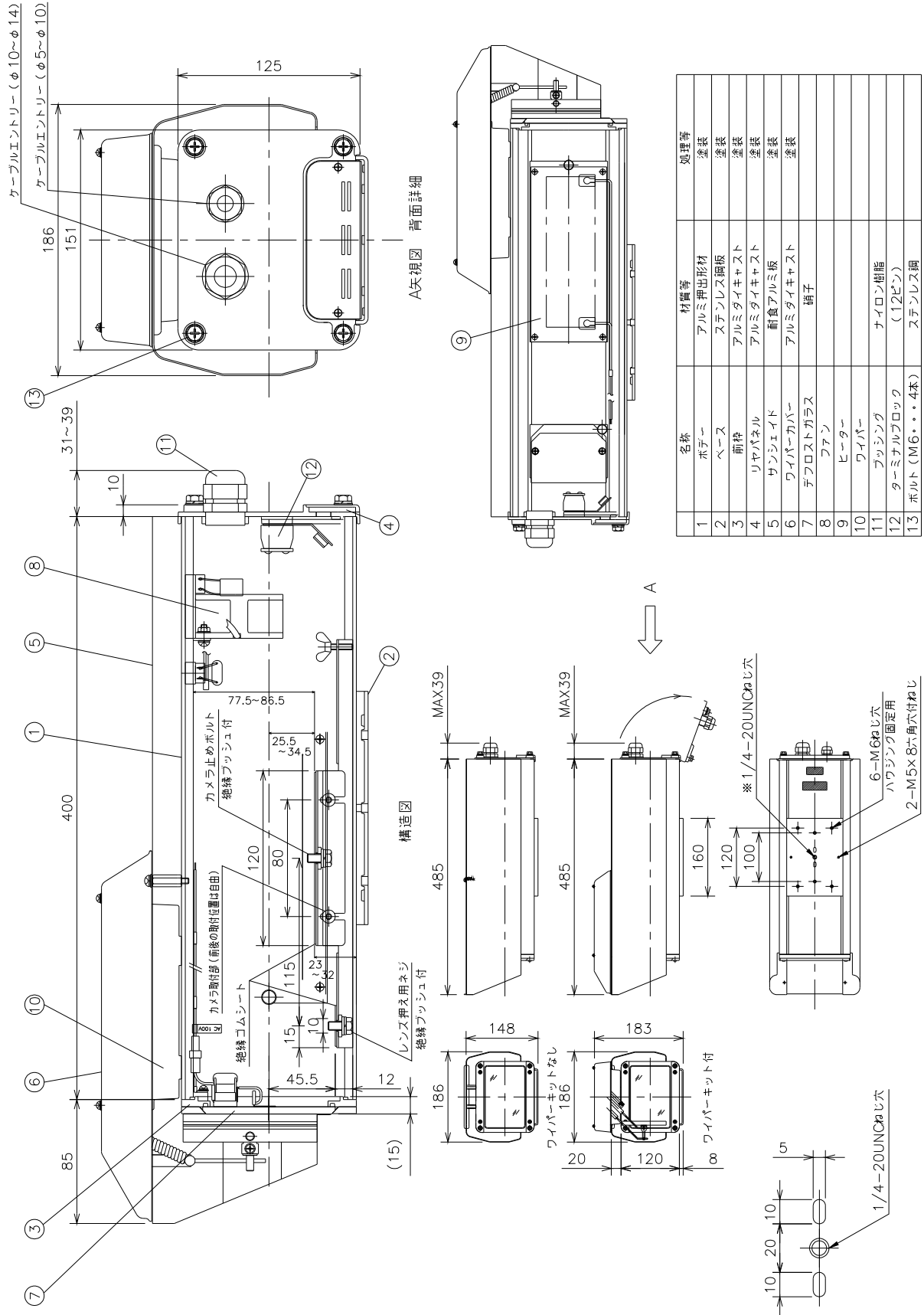
カメラハウジングの型名は、工場オプション装着時、以下のように表示します。



# 回路図



# 外観図 CH-1740



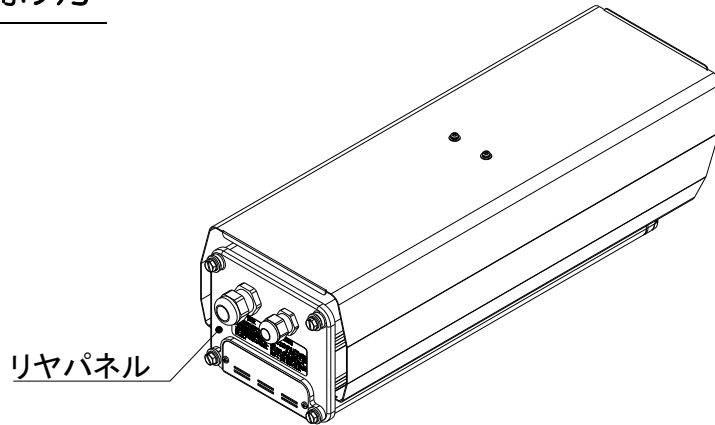
## 設置方法



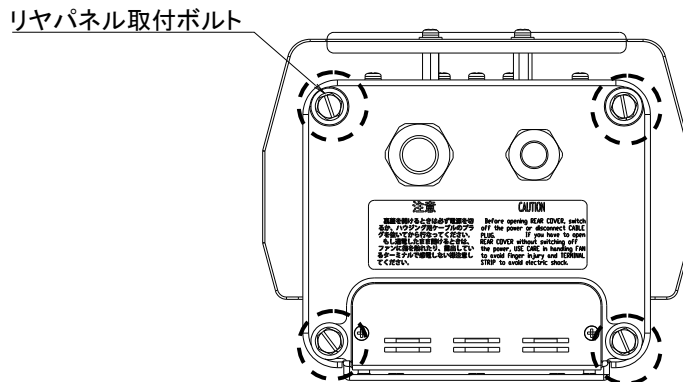
### 注意

- 本カメラハウジングに収納・接続・メンテナンス等を行う場合は、**必ずハウジング電源を切ってから作業を行ってください。**
- 電源を切った直後は、ファンがまわっていたり、ヒーターが熱くなっている場合があります。危険ですので指を近づけないようご注意ください。

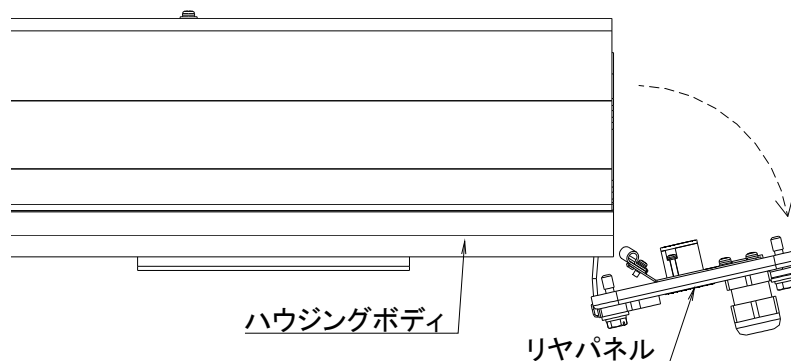
### リヤパネルの開け方



- 1) 取り付けボルト（4本）を緩めてください。

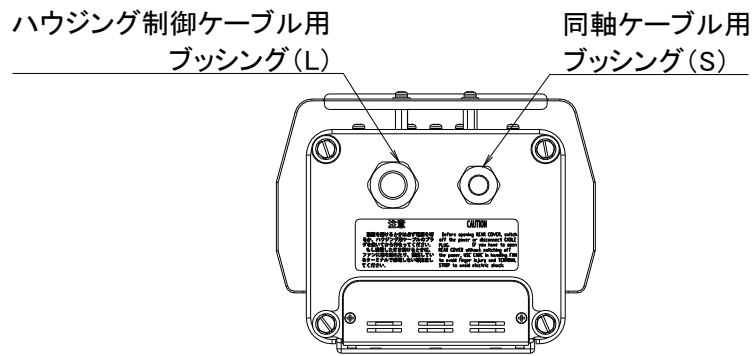


- 2) リヤパネルの下側に蝶番がついています。図のように下方に開いてください。

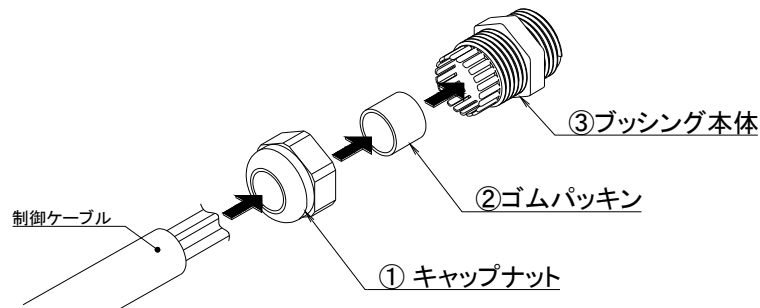




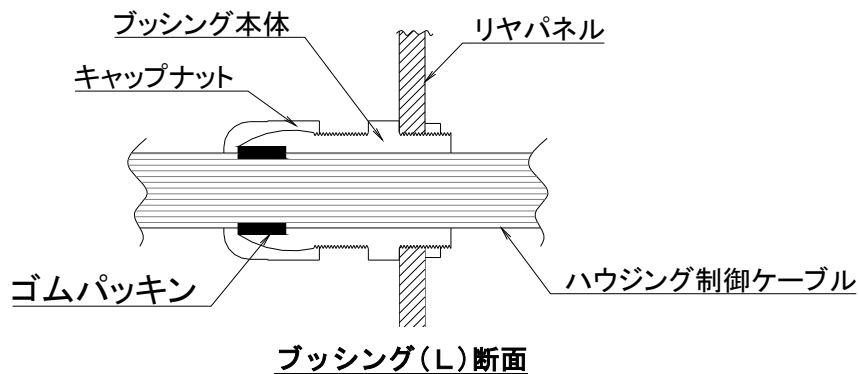
# ケーブルの取り付け方



- 1) ハウジング用制御ケーブルをブッシング (L) に通します。  
下図のように、キャップナット → ゴムパッキン → ブッシング本体の順に通してください。



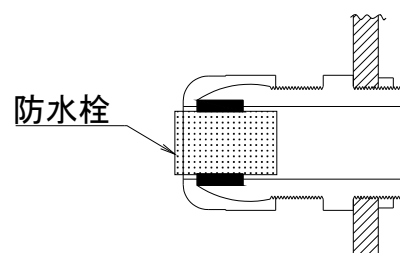
- 2) ゴムパッキンは図のように確実に取り付けてください。  
不完全な取り付けをしますと雨水が浸水します。



●PTH-17 型付属のハウジング制御ケーブルを使用する場合は・・・

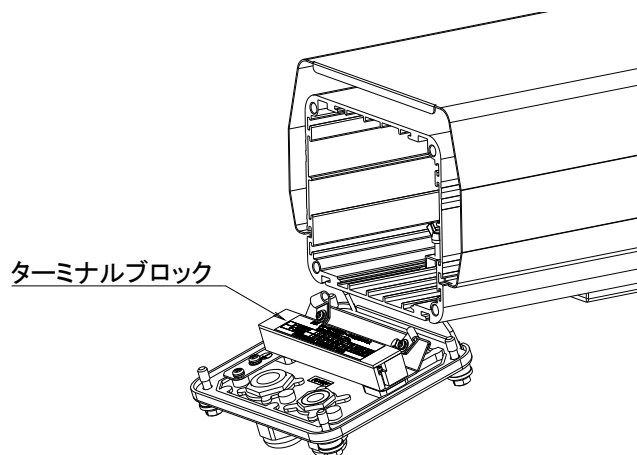
付属のハウジング制御ケーブルに同軸ケーブルが内蔵されていますので、同軸用ブッシング (S) は不要です。  
右図のように防水栓を確実に取り付けてください。

防水栓の外側に屋外用コーキングを塗布しておかれますと、一層安全です。



3) プッシングを通したケーブルは回路図に従ってターミナルブロックへ、正しく取り付けてください。

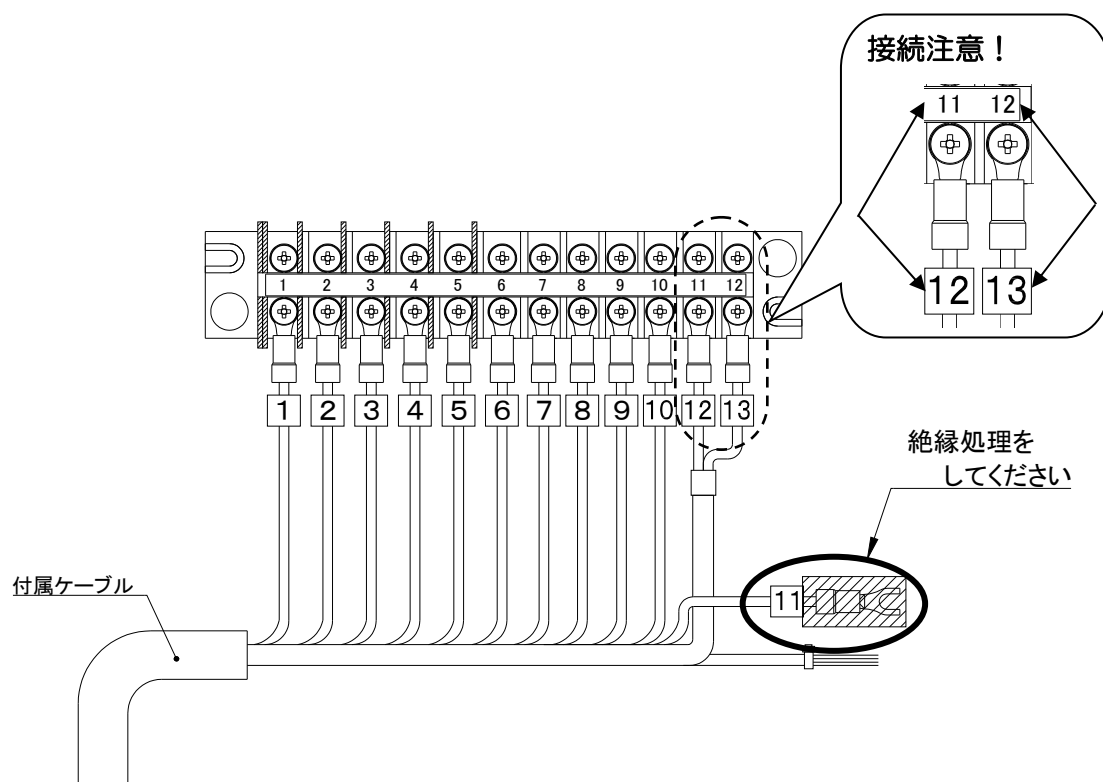
※引っ張っても抜けないよう確実にねじを締め付けてください。



●PTH-17 型付属のハウジング制御ケーブルを使用する場合は・・・

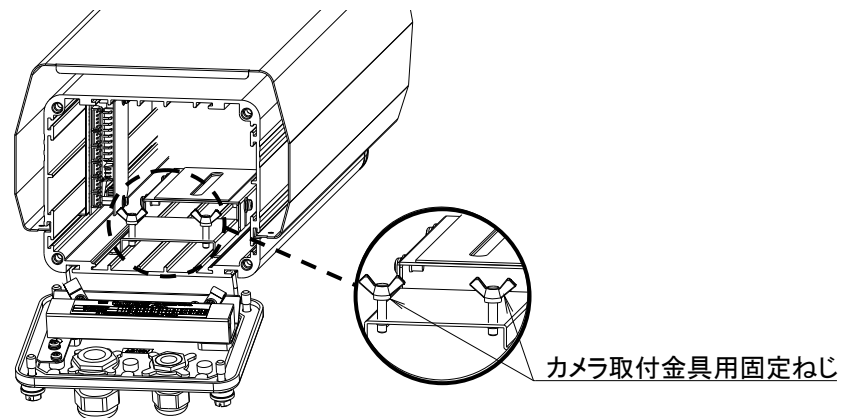
PTH-17/77 型を使用する場合は、付属ケーブルの接続を下記のように行ってください。

また、11 番は必ずビニールチューブなどで絶縁処理をしてください。

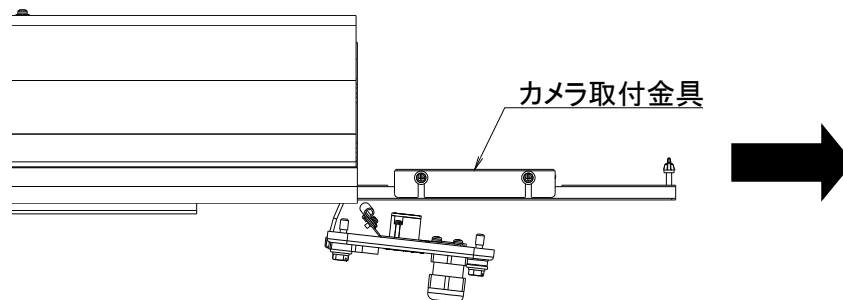


## カメラ・レンズの取り付け方

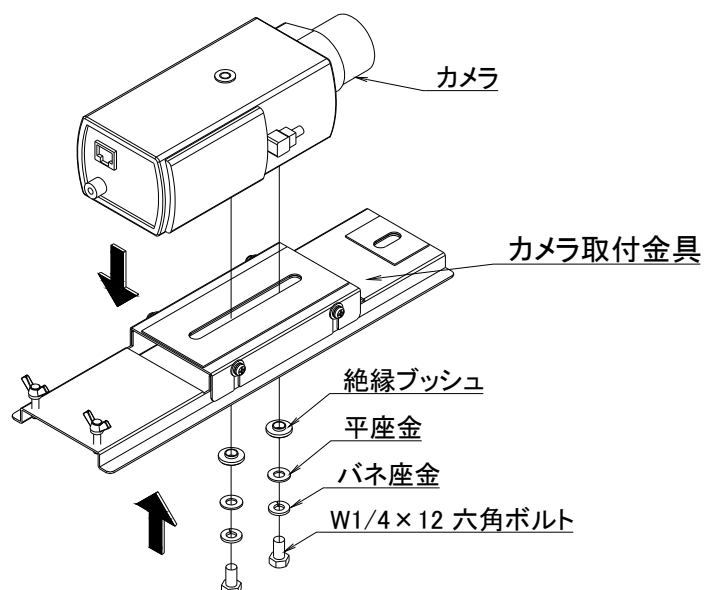
- 1) カメラ取付金具固定ねじ（蝶ねじ2本）を緩めてください。



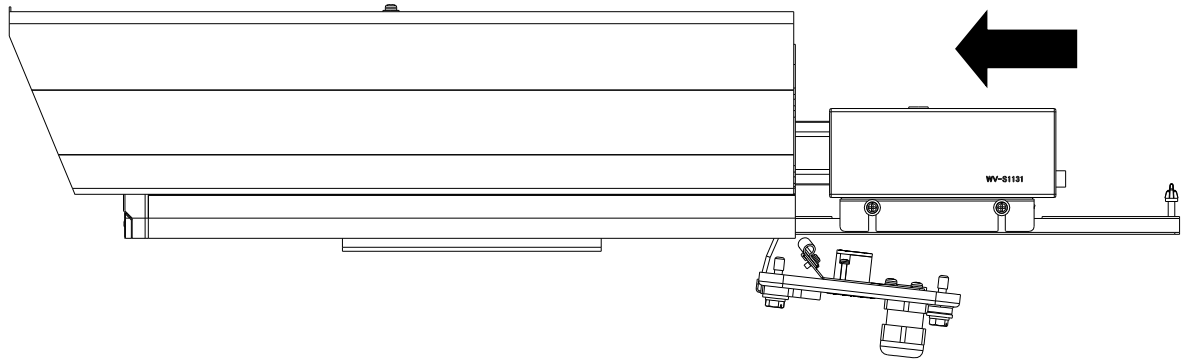
- 2) カメラ取付金具を引き出します。



- 3) カメラはカメラ取付ボルト類を使用し、カメラ取付金具を介して締結します。  
※カメラ取付ボルトを緩めることで位置調整出来る構造になっています。



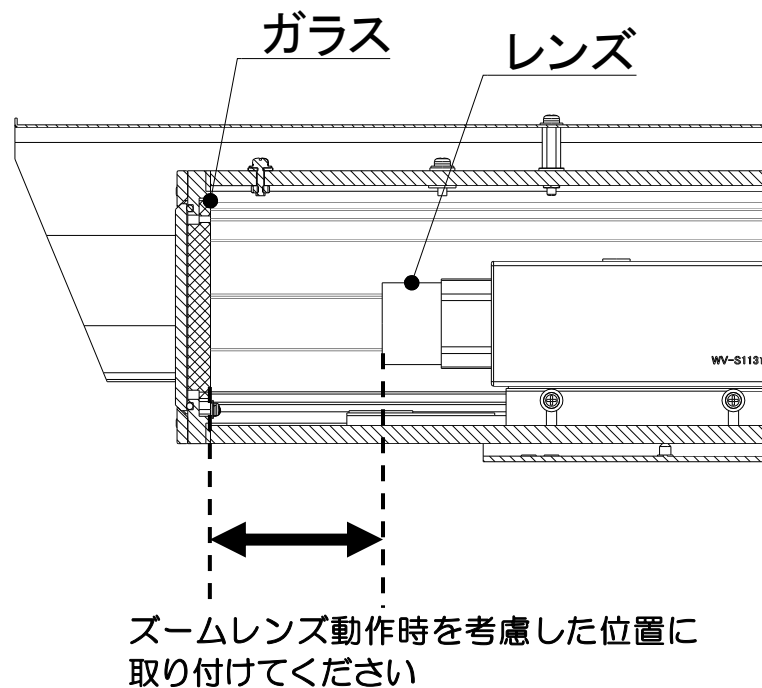
4) カメラ取付金具をカメラハウジングに戻し、カメラ取付金具固定ねじ（蝶ねじ2本）を締め付けます。



## 注意

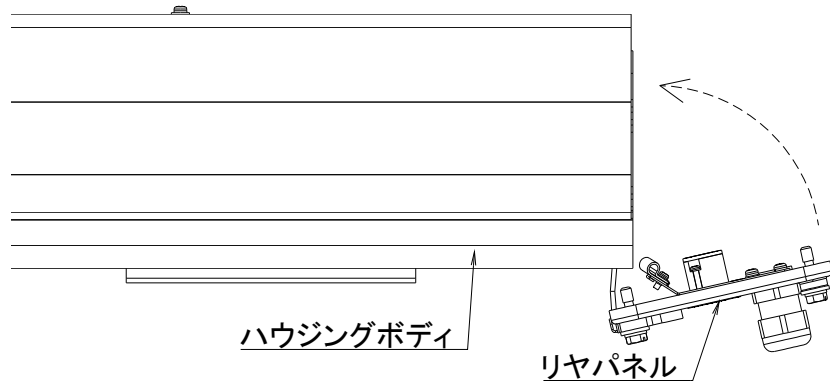
ズームレンズを動作させた時、ガラスに当たる位置でベースを固定しますとガラスが破損し浸水の恐れがありますので取付位置に注意してください。

デフロストガラスが破損しますと浸水し、電源ショート、感電の恐れがありますので注意してください。



## リヤパネルの閉め方

1) 配線を確認し、リヤパネルを戻してください。



### 注意

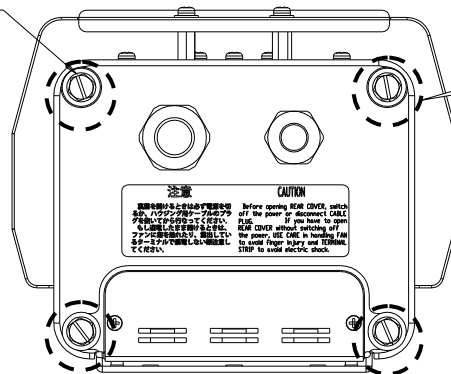
リード線等、挟み込みのないよう注意してください。

不完全な組み付けをしますと雨水が浸水したり、感電の恐れがあります。

2) 取り付けボルト（4本）を締め付けてください。

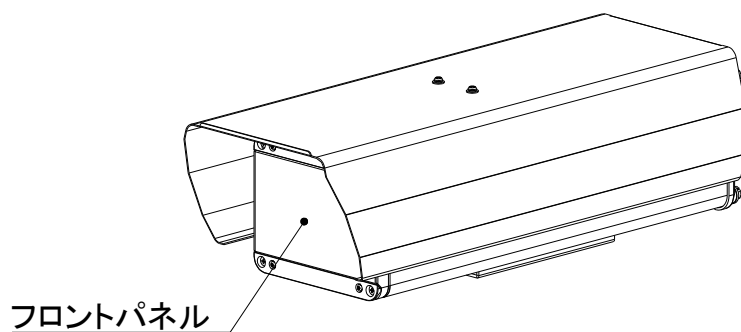
※ネジ締め付けトルク 設定値  $200\text{cN}\cdot\text{m}$  ( $2\text{N}\cdot\text{m}$ )

リヤパネル取付ボルト

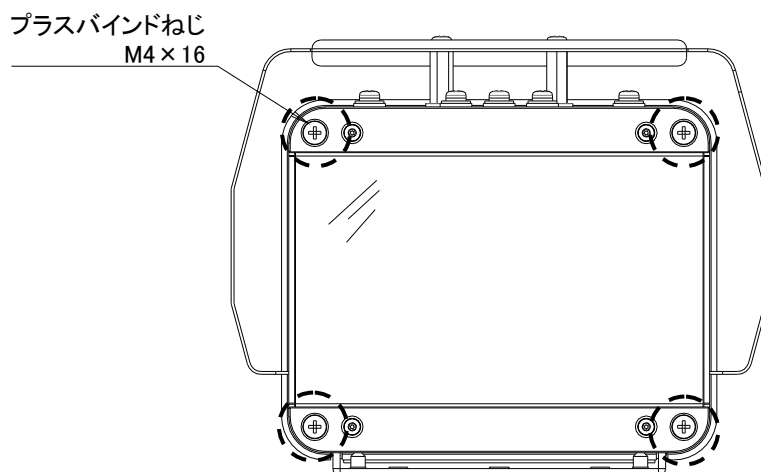


ネジ締め付けトルク  
トルクドライバー  
設定値  $200\text{cN}\cdot\text{m}$  ( $2\text{N}\cdot\text{m}$ )

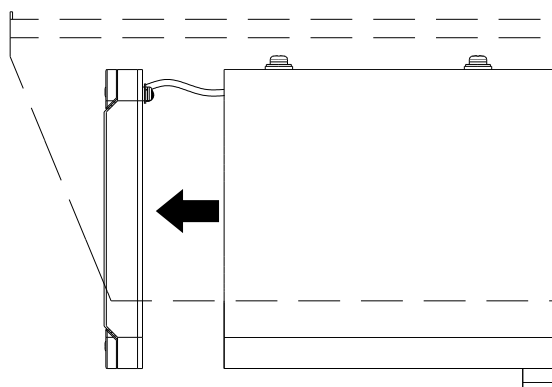
## フロントパネルの開け方



- 1) プラスバインドねじM4×16（4本）をフロントパネルから取外してください。  
※ネジの落下にご注意ください。



- 2) フロントパネルを少し手前に引いてください。  
※内部配線を強く引っ張らないように気をつけてください。



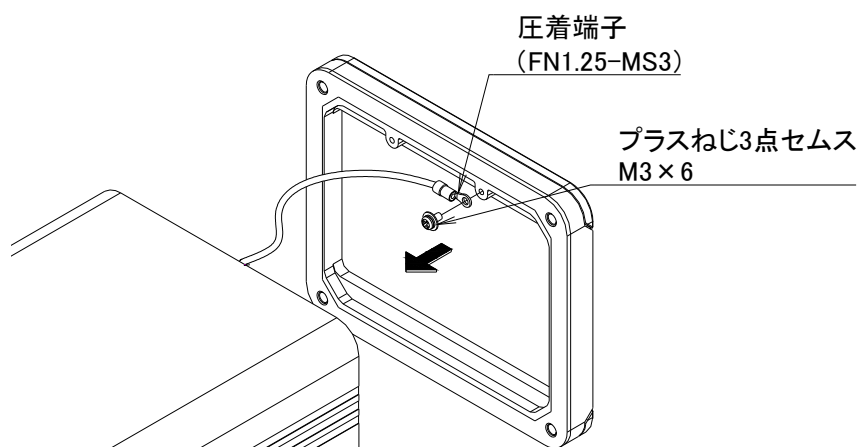
### 注意

強く引かないでください。  
断線する恐れがあります。

- 3) 内部配線を外します。  
デフロストガラスの有無により、配線が異なります。

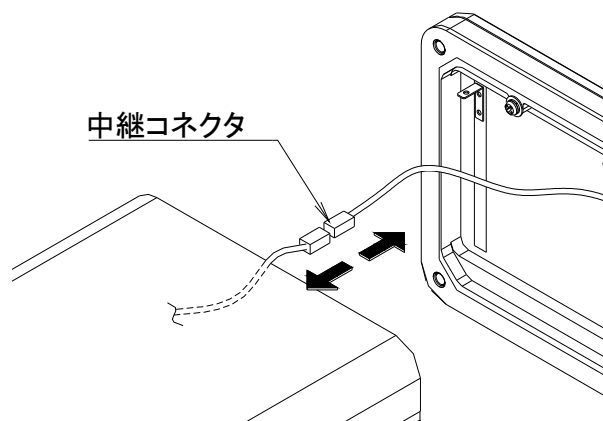
**デフロストガラスなし**

プラスネジ3点セムス (M3×6) を外し、圧着端子 FN1.25-MS3 を取外してください。



**デフロストガラスあり**

中継コネクタを外してください。

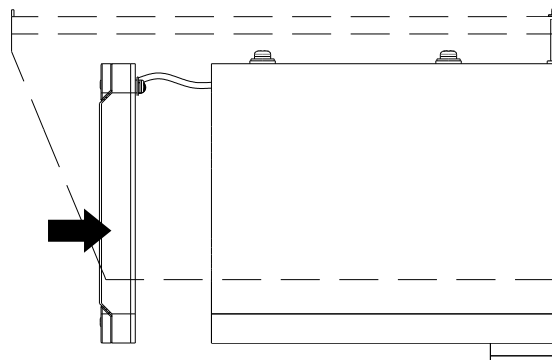


## フロントパネルの閉め方

1) 内部配線をもとの通り取り付けます。

2) フロントパネルを戻します。

※電線がフロントパネルとハウジングボディの間に挟まれないよう十分注意してください。



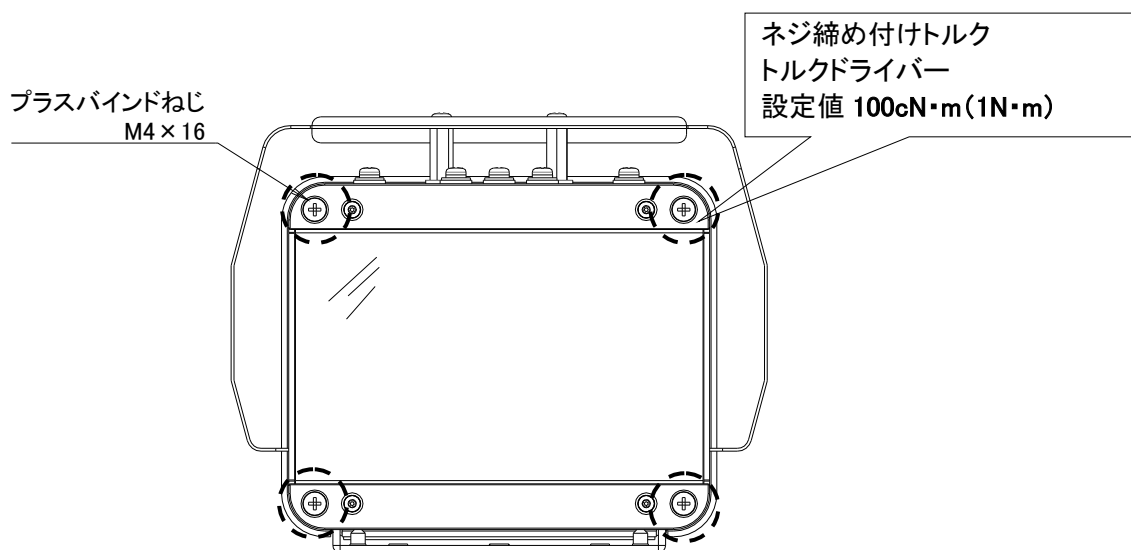
### 注意

リード線等、挟み込みのないよう注意してください。

不完全な組み付けをしますと雨水が浸水したり、感電の恐れがあります。

3) プラスバインドねじ M4×16 (4 本) を締め付けてください。

※ネジ締め付けトルク 設定値 100cN・m (1N・m)







# 製品の保証について

## <保証期間>

本製品の保証期間は弊社(株式会社ミカミ)が納入した日より1年間とし、弊社保証規定に基づき無償修理を行うことをお約束いたします。

## <製品保証規定>

- 1.上記記載の保証期間において、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った、正常な使用状態で万一故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
- 2.保証期間内でも、次の場合には有償修理になります。
  - (1)ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障または損傷。
  - (2)お買い上げ後の輸送、移転、落下などによる故障および損傷。
  - (3)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
  - (4)本製品に接続している当社指定以外の機器故障に起因する故障および損傷。
  - (5)消耗部材を取り替える場合。
  - (6)指定外の使用条件で使用された場合に生じた故障および損傷。
- 3.この保証規定は、日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

\* 本製品の故障に起因する付随的損害については補償いたしかねます。

## <修理について>

- 1.本製品の修理は引き取り修理とさせていただきます。
- 2.修理内容によっては設定内容、ログなどが消えることがあります但し当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

株式会社 

特機営業部

〒102-8520 東京都千代田区麴町 1-10-1 ミカミビル3階  
TEL. 03 (3230) 4511 FAX. 03 (3230) 3451

西日本支店

〒531-0072 大阪市北区豊崎2-7-9 豊崎いずみビル8階  
TEL. 06 (6376) 1821 FAX. 06 (6376) 2071

本書は、予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。

MUM0232-9

2022.03